マガキ養殖業　公表用実技試験問題（上級）

１．作業の安全

（１）安全装具の装着・収納（７分）

・ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

・装着物を外し、正しく収納する。

（使用機材）各自通常使用中の上記装具×人数分

２．漁具の製作・補修

（１）採苗器の作成（１２分）

・１連あたりホタテ殻７０枚の採苗器１連を作成する。

（使用機材）ホタテ殻７０枚、針金　１本、豆管、ペンチ（針金末端処理用）

（２）ロープの結び方（７分）

・もやい結び、巻結び、かえる又、錨結びをする。

（使用機材）ロープ１本

（３）筏の補修（１８分）

・２本の竹材を針金で平行に固定する。

２本の竹材を針金で交差させて固定する。

（使用機材）竹材２本、鉄線２本（竹材の大きさに合わせた長さ）、

スパイキー（またはシノ）、ニッパー（鉄線切断用）

※鉄線は番線を使用すること（主に８番線が多く利用されている）

（４）丸篭の補修（１８分）

・丸篭の外網及び底網における３カ所（１目切断２カ所、（３目×３目）のＬ字型切断１カ所）の切断箇所を見つけ補修する。

（使用機材）　丸篭１個、補修用ナイロン製糸３本、網針又は編針１本

３．種苗の確保

（１）カキ種見（８分）

・採苗後の１０枚のホタテ殻から１枚あたり４０－８０個のマガキ稚貝が付着したホタテ殻３枚を選別する。

（使用機材）採苗後のホタテ殻１０枚・・・大日本水産会が用意

（２）カキ幼生判別

・図を見て、カキの幼生２種を判別する。（３分）

（使用機材）マガキ解剖図の写真・・・大日本水産会が用意

４．生産物の取り扱い

（１）器官の判別（２分）

・図を見て、器官５種を判別する。

（使用機材）マガキ解剖図の写真・・・大日本水産会が用意

（２）マガキのむき身作業（９分）

・カキ１０個をむき身にする。

・２種のカキ写真を見て、①外套膜、②生殖巣の違い、について比較・説明する。

（使用機材）マガキ１０個、カキ剥きナイフ、剥き身を入れるバット、手袋（軍手等）

カキ剥き台